



LINK 東横連携だより

地域との
つながりを
大切に

病院 理念

「生命の尊厳とキリスト教の愛の精神」を重んじ、病める人を癒す、愛ある医療を目指します

今 年最初のLINK、新年あけましておめでとうございます。とは記しても、発行される時は2月、医療関係の皆様には新年の気分も薄らぎ、心身共に忙しい日常をお過ごしのことと推察致します。日頃、大切な方々をご紹介くださり、ありがとうございます。東横病院に紹介して良かったと思っていただけますよう、職員一同努めておりますが、至らぬ点があるかと思います。ご指導頂けますと幸いです。

さて、4月に天皇陛下がご退位され、元号が変わります。平成も残すところ僅かです。日本国にとりましては、節目の年となります。

東横病院はリニューアルオープンして11年。十年一昔と言いますが、この10年で随分と診療体制が変わりました。当初より日本人の3大死因であります悪性新生物（その多くは消化器癌）、虚血性心疾患、脳血管障害を中心とする診療でした。

現在はそれらの原因となる生活習慣病の診療、予

防に重点を置く健診が加わりました。昨年10月からは婦人科も加わり、悪性新生物をさらに網羅する診療体制に強化されました。また種々の特殊外来も行われています。十年一昔とは言え、これ程変化するとは予想できませんでした。

東横病院の変化は皆様のさらなるお役にたてること思います。加速的に変化する現代、凡人には数年先さえ予想することは困難ですが、AIの開発は進み、医療現場にも導入されます。これにより医業分担は進み、病診連携なくして医療は展開できなくなるように感じます。

私どもは選ばれる紹介先になれるよう技術向上に務め、先生方には逆紹介を含め外来診療をお願いしなければならないと考えます。来るAI時代に向けて先生方と良きパートナーになれますよう務めます。

聖マリアンナ医科大学東横病院

副院長 中嶋 孝司

[診療科及び診療施設新旧比較]

旧診療科

- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳卒中科
- 消化器外科
- 心臓血管外科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科

現診療科

- 循環器内科
- 消化器内科
- 脳神経内科
- 代謝・内分泌内科
- リウマチ・膠原病・アレルギー内科
- 腫瘍内科
- 消化器外科
- 心臓血管外科
- 脳神経外科
- 婦人科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理診断科

旧診療施設

- 消化器病センター
- 心臓病センター
- 脳卒中センター

現診療施設

- 消化器病センター
- 心臓病センター
- 脳神経・脳卒中センター
- 失神センター
- 生活習慣病センター
- 救急集中治療部
- 健康診断センター
- └ 女性検診センター

新たなるスタート、進化する東横病院

5階病棟 看護師長
細井 真紀子



2018年8月中旬から9月中旬まで約1ヶ月をかけ、15床個室のみの病棟から大部屋を含む心臓病センターの病棟へと生まれ変わりました。4床室が4室、個室7床で8床増床し合計23床の病棟となりました。以前は個室のみの病棟で、全科対応でしたが、今回心臓病センターとなったことでさらに、循環器疾患の専門的な看護ケアをしてまいります。

高齢化社会に伴い、心不全の患者さんは増えており、病院のみならず地域全体でさまざまな職種と連携していく必要があります。病院内でも入院前のADLを維持できるようリハビリテーションや退院後の日常生活管理ができるよう、心不全及び退院支援カンファレンスにて医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、栄養士、MSW等多職種が協働し、入院当初からチーム医療が提供できるように取り組んでおります。

さらには、地域全体と連携がとりやすく、患者さん・ご家族の意向に沿い、患者さんのQOLが維持できるようスタッフ一丸となって努めてまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

外来 看護師長
島澤 淳子

2018年10月より婦人科の新設に伴い、外来診療も開始いたしました。当初、婦人科外来診療は月曜日から土曜日の午前中のみの診療でしたが、患者さまの要望も多く、11月より金曜日の午後の外来診療を増設しております。女性の腹部症状に対してご相談いただいた場合、消化器科と婦人科の診察も提案できるため、より安心して受診できるようになりました。また、婦人科の化学療法も開始いたしました。症状だけでなく不安や痛みの緩和を図るように、がん化学療法認定看護師と多職種チームでかかわり、患者さまにとって最適な治療が選択できるように心がけております。

そして、専門外来の禁煙外来をご紹介いたします。禁煙支援士の資格を持つ医師と外来看護師が協働して担当しています。血管疾病などの患者さまへ禁煙をサポートさせていただき、多くの患者さまが禁煙を成功しています。ぜひとも、慢性期で禁煙が必要な患者さまの専門外来についてもご相談ください。

常日頃から一般外来・専門外来にご紹介いただきまして、誠に感謝いたします。これからも地域との連携を強化し、より一層の患者サービスの向上に努めて参りたいと思います。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



専門外来一覧

平成30年12月現在

担当診療センター	専門外来	曜日	時間	予約
失神センター	失神外来	月曜日～金曜日	午後	要
心臓病センター	SAS外来	火曜日・木曜日（第2・4・5）	午後	要
	ペースメーカー外来	金曜日	午後	要
	禁煙外来	土曜日（第2・4）	10時まで	要
生活習慣病センター	CGM外来	月曜日～金曜日	10時～12時	要
	腎症外来	水曜日（第1・3）	午前	初診時は代内初診を予約
	フットケア外来	水曜日	午後	初診時は代内初診を予約
脳神経・脳卒中センター	ボツリヌス治療外来	火曜日	午前	要
	脳血管内治療外来	水曜日・木曜日	午前	要
	頭痛外来	木曜日	午後	なくても可能
	物忘れ外来	金曜日	午後	要
消化器病センター	肥満外科外来	水曜日	午後～15時まで	要
	ヘルニア外来	水曜日	15時～	要
	肝臓疾患外来	金曜日（第2・4）	午後	要

診療
受付
時間

午前 8:30～11:00
午後 1:30～4:00
土曜日は第2、4、5の午前中のみです

※専門外来は基本的に事前予約制になっておりますのでご了承ください

医療連携講演会のご紹介



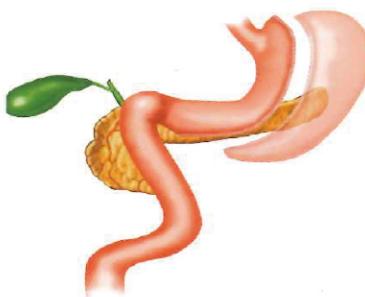
今回は昨年11月開催の「肥満外科の適応と実際」の講演についてご紹介いたします

消化器病センター
佐々木 貴浩

生活習慣病センターの先生方のご協力の元、2017年4月より毎週水曜日午後に肥満外科外来を開設いたしました。肥満外科手術の適応は、6ヵ月以上の内科治療によっても十分な効果が得られないBMIが35以上の肥満症の患者様であって、糖尿病、高血圧症、脂質異常症又は閉塞性睡眠時無呼吸症候群のうち1つ以上を合併している患者様において、保険適応で腹腔鏡下胃スリープ状切除を行います。スリープ状切除は胃の大弯側を切除するもので、この術式のみが現在、保険適応となっています。

また、外来受診されてもすぐに手術になるわけではなく、来院時体重から-5%の減量を行い、その間に、心臓や脳血管など他の合併疾患を検索し、必要であればカテーテル検査、治療を行います。よって生活習慣病センター、消化器病センターのみならず、他センターの協力が不可欠であります。肥満手術は緊急性を要しないと考えておらず、術前のリスク回避が重要なため、手術までは最短でも2~3ヵ月は要します。また術前後も看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカーなど各部署の方々の関わりが必要不可欠な病態で、東横病院全員で取り組むミッションであります。

2017年4月から2018年11月現在、肥満外科外来には、8名の患者様をご紹介いただきましたが、手術治療を施行した方はいません。それだけ、問題ない臓器にメスを入れるのは、患者様、我々医師も慎重になります。多くの症例を手術している施設でも年間平均10例に満たない手術であります。院内外問わらず、地域の先生方を始め様々な方の協力を得て、新しい取り組みをしていきたいと考えております。ご支援、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



手術時間
約2時間
術後入院期間
1~2週間
術後
3~4日目：術後透視
4~5日目：食事開始
全粥で退院を予定

腹腔鏡下スリープ状胃切除術

当院での流れ

- ①肥満外科への受診：水曜日午後完全予約制
紹介状持参
適応確認。本人、家族の意思確認。手術までの流れの説明。
- ②生活習慣病センターへのコンサルト：来院時の体重から-5%へ減量のための教育入院（約2~3週間）。
その間に
 - 1) SASの有無（簡易型検査）
 - 2) 糖尿病合併症の有無検索
 - 3) 看護師、SW、栄養士、リハビリの介入
- ③SASの治療が必要な場合は別途、循環器センターで入院
その他、循環器疾患、脳疾患が併存の場合はカテーテル等の入院を別に行う。
- ④外来、もしくは入院で手術前の検査を施行：他の疾患と同様の術前検査（CT、GF、心電図、呼吸機能など）
- ⑤麻酔科へのコンサルト
- ⑥手術目的に入院：術後1~2週間の入院予定
- ⑦外来経過観察
(生活習慣病センター、肥満外科外来で基本は5年間)

外来受診から手術までのおおよその期間は

-5%減量のための教育入院	2~3週間
SAS治療	1~2日間
その他 カテーテルなど	7日間
術前検査	5日間

最短でも約30日程度の期間を要する。

しかしながら、現段階ではそれ以上の時間を割いてご本人の意思確認や手術後の変化をお話ししている。

本疾患はがんなどとは異なり、緊急性を要することはないため、術前のリスク排除が一番重要と考える。

平成30年12月に1名 手術治療を施行しました。

緊急のご紹介について

当院は救急指定病院として地域住民や地域医療に貢献すべく、各センターがホットラインを備え、救急隊や近隣の医療機関からの要請に対し 24 時間 365 日体制での確な診断、迅速な治療を行うための体制を整えております。

医療機関専用・各センターホットライン（医師直通）

各センターの医師が直接対応いたします（24 時間）

脳神経・脳卒中センター 080-5498-9536

心臓病・失神センター 080-5498-9493

消化器病センター 080-5498-9516

救急外来 連絡先

TEL : 044-722-2121 (代表)

救急外来 FAX

FAX: 044-722-1771 (救急外来)

通常の診療・検査予約

TEL : 044-722-2216

(医療機関専用・連携室直通)

・まずお電話にてご希望日時の相談を賜り仮予約をお取りいたします

FAX : 044-733-6658

(医療機関専用・連携室直通)

・仮予約後、紹介状（FAX 用）を FAX 送信してください

・本予約後、予約票を返送いたします
※原則 30 分以内に返送いたします

電話・FAX 対応時間

平日 8:30 ~ 17:00

土曜日（第 2,4,5） 8:30 ~ 12:30

※FAX は 24 時間稼働しておりますが、
時間外の FAX 反送対応は、翌日又は休診
日明けとなりますので、ご了承くださいま
すようお願い申し上げます。

お知らせ

平成 30 年度 聖マリアンナ医大東横病院 医療連携講演会年間予定

隔月 第 4 木曜日 19:30~

場所 当院管理棟 5 階カンファレンスルーム

月日	センター	担当医	演題名
平成 31 年 2 月 28 日（木）	脳神経・脳卒中 心臓病	高田 達郎 古川 俊行	脳卒中の診療法 反射性失神ってなに？

次年度も医療連携講演会は開催予定です。決定次第お知らせをお送りいたします。
どうぞご参加ください。尚、当院ホームページにも掲載いたします。

聖マリアンナ医科大学東横病院
〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町 3-435
TEL: 044-722-2121 (代表)
TEL: 044-722-2216 (医療機関向け・連携室直通)
FAX: 044-733-6658 (連携室直通)



新年あけましておめでとうございます。今号では今までの LINK とは異なり、当院での活動をより分かりやすく皆様へ紹介できるよう掲載内容を大幅に変更しております。昨年は当院のリニューアル 10 周年記念、新診療科の増設など変化のある 1 年でした。本年も変化に対応しつつ、皆様へは変わりない信頼を提供させていただけるよう職員一同努力して参ります。何卒、よろしくお願ひいたします。（N・U）